

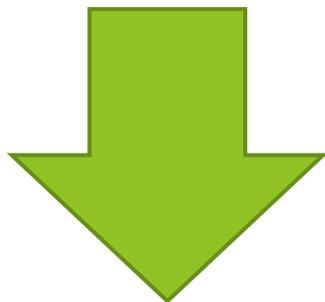
*It is possible to
“take”.*

大分県立芸術文化短期大学 こでなみんなチーム

大分県の現状・課題①



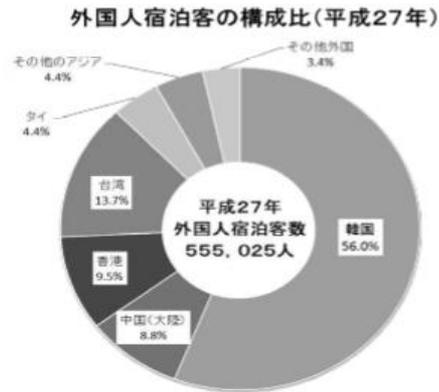
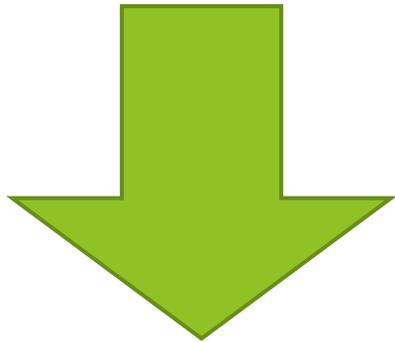
外国人にとって、温泉・地獄めぐりのイメージが強い。



温泉の他にも大分の良いところをもっと知ってもらい、より幅広い産業の活性化を目指すべきであると考える。

大分県の現状・課題②

大分にはアジア方面の外国人観光客は多く訪れているが、それに比べて欧米・オセアニア諸国からの訪日外国人はあまり訪れていない。

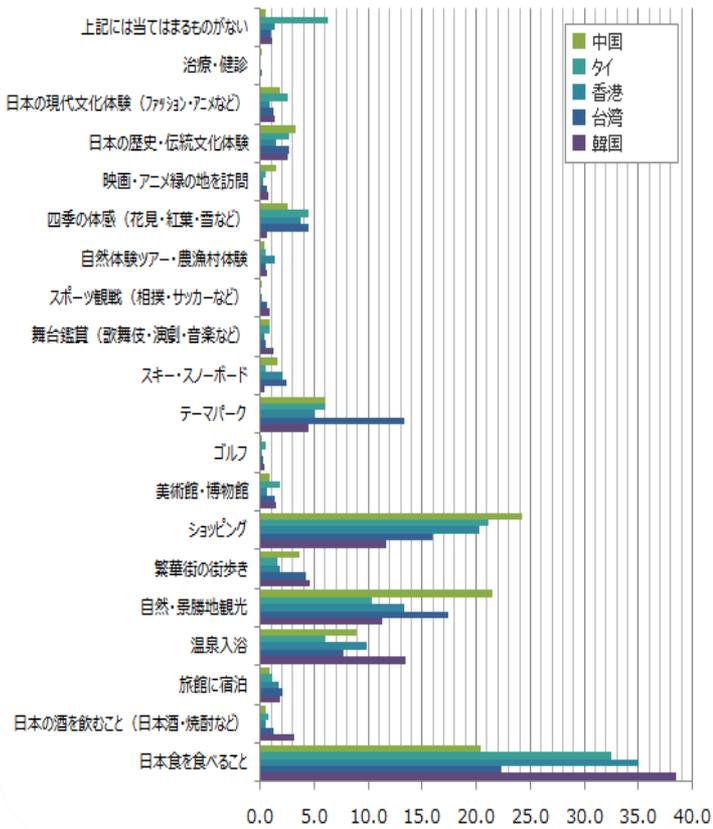


現在の主力であるアジア諸国に引き続き軸足を置きつつ、欧米・オセアニア諸国も含め訪日外国人旅行者の国・地方の多様化を図っていくべきであると考える。

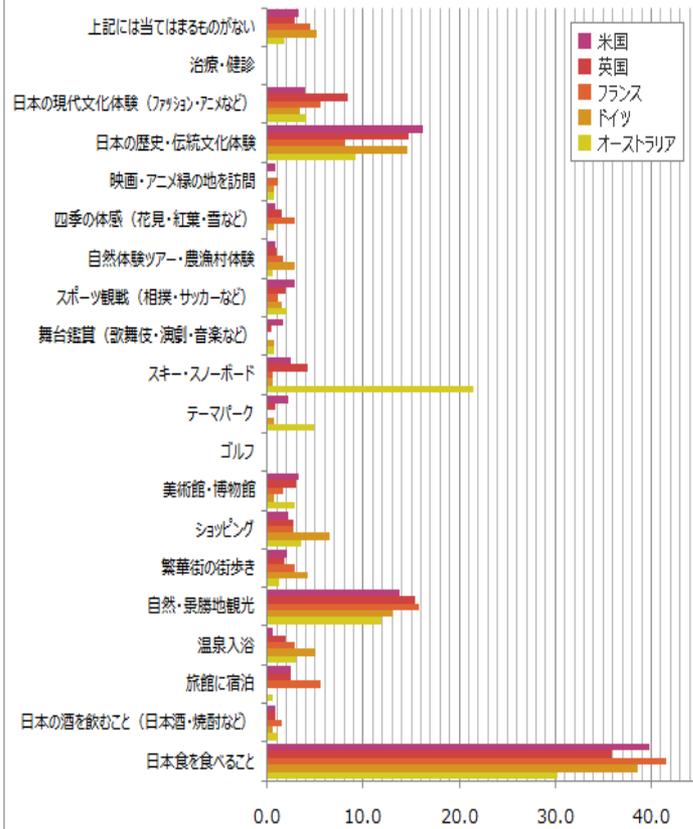
アジア圏と欧米圏の滞在目的

欧米圏は伝統文化など日本らしいものに魅力を感じている！

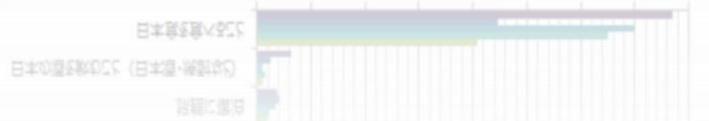
訪日前にもっとも期待していた事(アジア圏、単一回答)



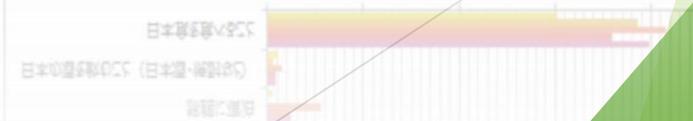
訪日前にもっとも期待していた事(欧米圏、単一回答)



0'0 2'0 10'0 12'0 30'0 32'0 40'0



0'0 10'0 30'0 40'0



これらのことから、

私たちは別府の伝統工芸品である**竹細工**に目をつけました！！

※竹細工に主に使われているマダケは面積、生産量ともに大分県が全国1位である。



調査

① 別府駅・由布院駅で外国人を対象にアンケートを行い、協力してくれた人には私たちが折った折り紙をプレゼントしました。

※アンケートは英語・中国語・韓国語の3か国語



② 電話調査として別府で竹細工を扱っているお店何件かに電話をし、いくつかの質問に答えていただきました。(ICHIZA・竹未来館・福助堂・竹聲館)



③ 別府市竹細工伝統産業会館に行き実際に作品を見て、お話を聞いてきました。



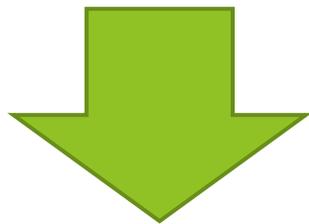
調査結果

- ▶ 約4分の1の外国人が竹細工について知っていた。
- ▶ 知っていると言った人は欧米人がほとんどであった。
- ▶ しかし、知っていると言った人の観光の目的はほとんどが温泉であった。
- ▶ 竹はアジアの地域には存在するがヨーロッパなどの地域には存在しないため、欧米圏の方が竹に興味を持ってくれる。
- ▶ しかし、そもそも欧米からの観光客が少ないため、お店にあまり訪れない。
- ▶ 別府市竹細工伝統産業会館を訪れる全体の5%が外国人であり、欧米から来る人がほとんどである。
- ▶ 昔は日用品として海外に輸出されていたが、現在は美術作品として注目され、海外の展示会にも出展している。
- ▶ 竹細工職人個人に会いに来る人がいる。

解決策

竹細工はもともと温泉で服をいれるために作られたもの。

- ① 温泉と一緒に、竹細工をアピールしていく。
- ② 欧米圏が魅力を感じる伝統文化体験を行う。



竹を最大限に活かしたツアーの
実現

プラン～新規性～

英語で説明

①見て・食べて・作ることができる竹ツアー！！

見る：職人によって手掛けられた伝統ある竹工芸品を見る。

食べる：竹でつくられたお弁当箱に入った昼食を竹でつくられた箸で食べる。

作る：竹細工をつくる体験を実際にする。

お土産も買うことができる。

中身にはたけのこや笹ご飯などの竹を使った料理も

②別府駅周辺にある竹細工のお店を巡りながら別府の商店街などの街並みを楽しむことができる。

③バス移動なので、バスの中からも別府の景観を楽しむことができる。

④夜は浴衣を着て竹を使ったイルミネーション(お祭り)を楽しむ。

※竹フィラントといった竹を使った電球を使用。

⑤温泉に入りゆっくりしてもらう。

※服を入れるかごには竹かごを使用。

⑥宿泊施設にも竹でつくられた日用品を完備

⑦朝食・夕食には大分の郷土料理を食べてもらう。

県内の美容系の学校の学生にボランティアを募る。

実現計画

アンケートの結果、竹細工のことは知っていても観光の目的は温泉であるという人が多かったため、竹細工のことを知っていてもそのくわしい情報が伝わっていないということが考えられる。



① 他県の駅や空港などの公共施設に実際の竹細工とパンフレットを置いてもらう。

② 県内では県内のいろんな施設で実際に竹細工を日用品として使ってもらう。また、美術品としても置いてもらう。そして必ず一緒に体験の情報を書いたパンフレットも置いてもらう。

③ 国内・海外問わず展示会に参加し、そこに詳しい情報が載ったパンフレットも置いてもらう。

④ Facebook、YouTube、で宣伝する。

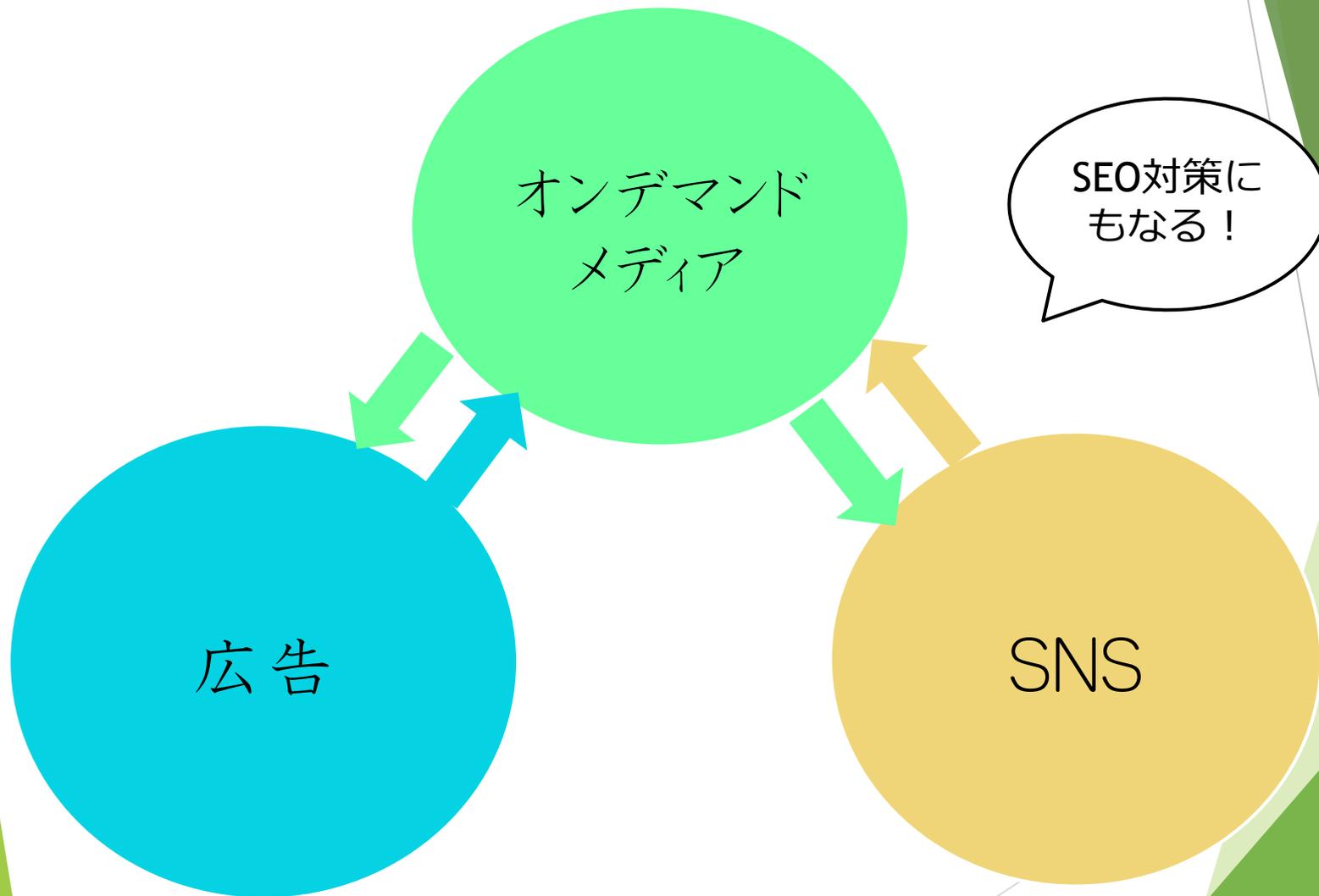


⑤ 街頭アンケートで上位にあがったインターネットサイトに最新の情報をくわしく載せる。

特に温泉施設

	1位	2位	3位	4位	5位
米国	Facebook	YouTube	Twitter	Pinterest	Instagram
英国	YouTube	Facebook	Twitter	Linkedin	Instagram
オーストラリア	YouTube	Facebook	Linkedin	Twitter	Instagram

3つのメディアの活用



期待される効果

- ① 欧米人を呼び込み、訪日外国人の多様化を図ることができる。→観光客の増加
- ② 地域ブランドの向上→竹細工職人の増加
- ③ 付加価値の高い観光産業の実現
- ④ 竹製品の消費量の増加→荒れた竹林の再生にもつながる。
- ⑤ 竹細工産業の活性化→大分全体の活性化
- ⑥ 持続性のある産業へと発展
- ⑦ 住民との交流

大分と竹細工の可能性が広がる！！

以上

ご清聴ありがとうございました。



参考資料

<http://www.pref.oita.jp/soshiki/10820/kankoutoukei.html>

<http://www.mlit.go.jp/kankocho/siryou/toukei/syuhityousa.html>

こでなみんチーム: 萱島温子 伊南天奈
森下このみ 宮川楓